

2018年11月6日  
日興アセットマネジメント株式会社



## 日興グローイング・ベンチャーファンド

### 当ファンドの特徴と実績を改めてご紹介

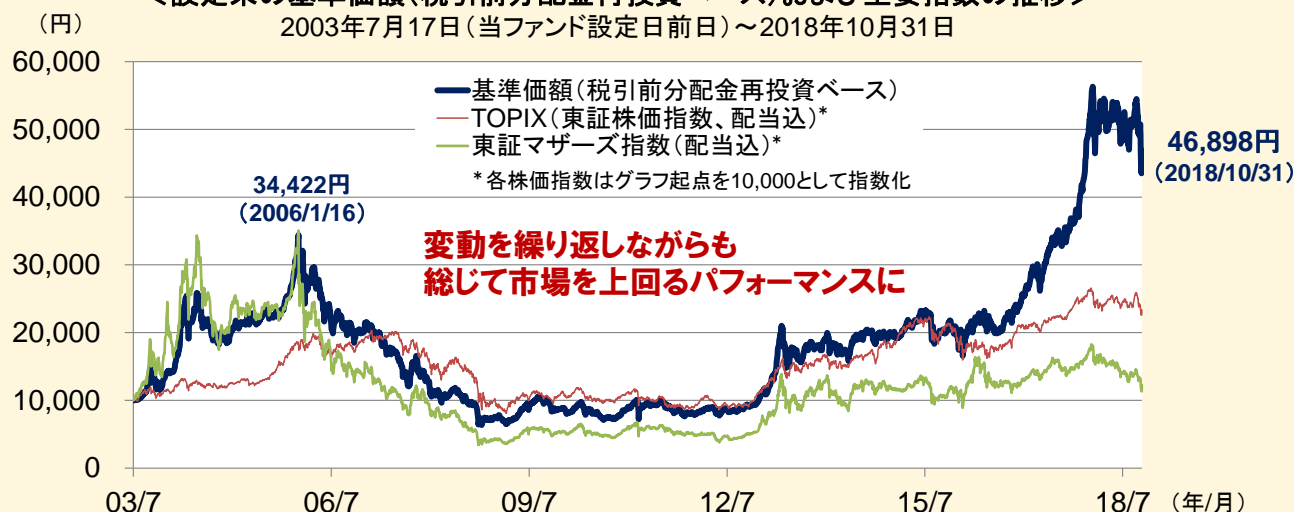
当ファンドは、本年3月より、ご購入の申込受付を一時停止させて頂いておりましたが、足元では、新たな投資資金の受付が可能な状況となったため、11月2日より、申込受付を再開させて頂くことになりました。本レポートでは、当ファンドの特徴と運用実績などについて、改めてご紹介いたします。

#### 新興成長株への投資で優れたパフォーマンスを実現

- 当ファンドの基準価額は変動を繰り返しながらも、徹底的な企業調査に基づく銘柄調査などが奏功し、**長期的には市場を大きく上回る優れたパフォーマンスを実現してきました。**
- **新興成長株は大型株に比べると値動きが激しくなる傾向がある一方、新しい技術やビジネスモデルなどを背景に、大きく成長する可能性を秘めている**と考えられます。今後も、徹底的な企業調査により、そうした成長力を持つ銘柄を厳選することで、長期的に優れたパフォーマンスが期待されます。

#### <設定来の基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移>

2003年7月17日(当ファンド設定日前日)～2018年10月31日



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

改めて  
ご紹介

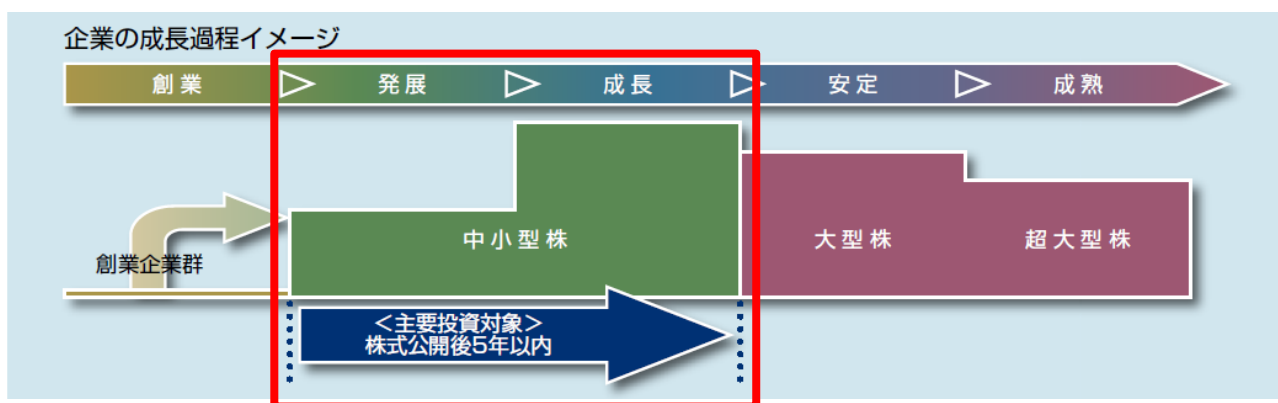
「日興グローイング・ベンチャーファンド」は  
株式公開後5年以内の「**高成長新興企業**」  
に投資を行なうファンドです。

ファンドの特徴

1

主に企業の「発展」「成長」が最も期待できる株式公開後5年以内の「**高成長新興企業**」に投資を行ないます。

<主要投資対象について>



※上図は企業の成長過程および当ファンドの投資対象をイメージしたものであり、株価水準や企業の魅力度等を示唆したものではありません。

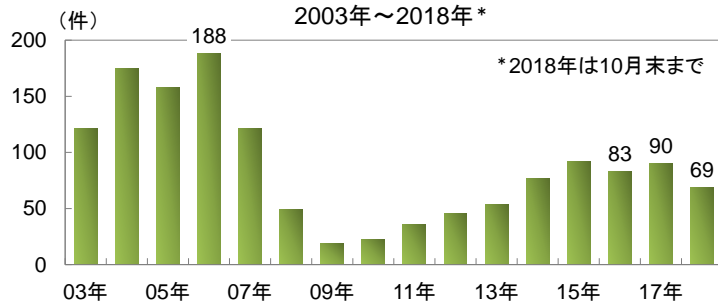
ファンドの特徴

2

徹底的に掘り下げた企業調査により「**高成長新興企業**」を  
厳選、抽出します。

当ファンドでは、成長株に特化した独立系の投資顧問会社である「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」が徹底したボトム・アップリサーチを行ない、有望企業を厳選しています。企業調査にあたっては、経営陣との個別直接面談を重視しています。IPO(株式の新規公開)を行なった企業については、**ほとんど全ての企業と面談**し、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。

<IPO件数の推移>  
2003年~2018年\*



エンジェルジャパン・アセットマネジメント

面談が可能な  
ほとんど全てのIPO企業と  
個別直接面談を実施

エンジェルジャパン・アセットマネジメントの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

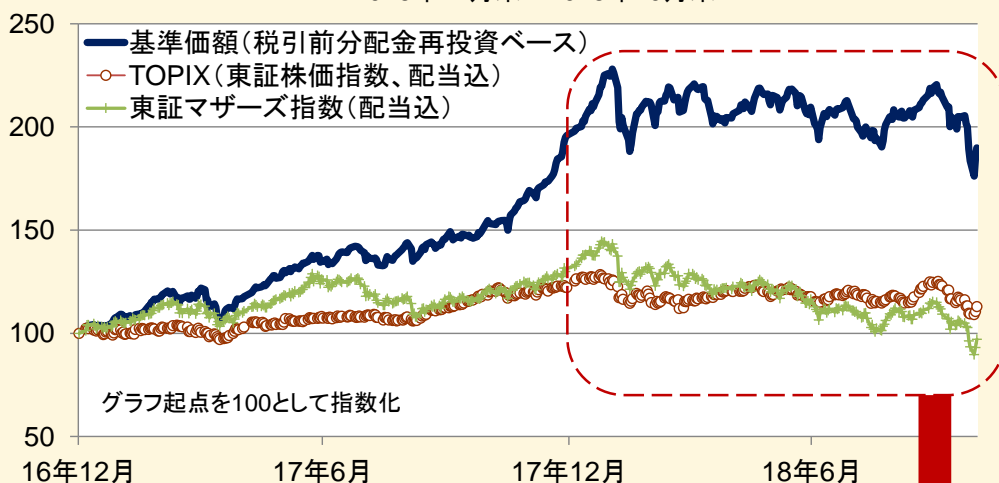
■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

2017年以降の  
基準価額

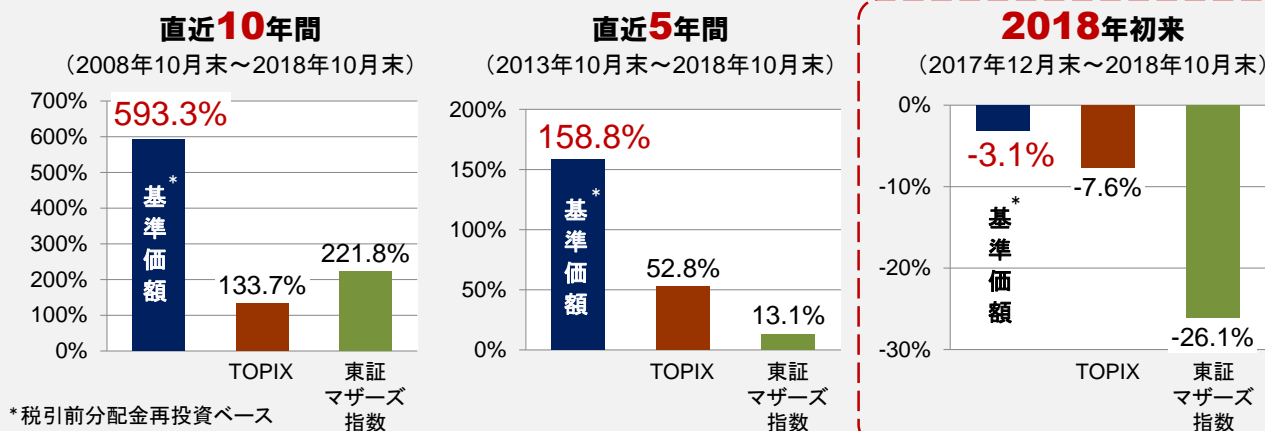
足元では市場変動の影響を受けるも  
相対的に底堅く推移

- 2018年10月、米金利上昇や米中貿易摩擦の激化への懸念に伴う米国株急落の影響を受け、国内株式市場は大きく下落しました。こうしたなか、当ファンドの基準価額も足元で下落傾向となりました。
- しかしながら、当ファンドでは、こうした環境下でも徹底的な調査に基づく銘柄選別を継続しており、**年初来では、相対的に下落幅は限定的となりました。**

＜基準価額(税引前分配金再投資ベース)および主要指数の推移＞  
2016年12月末～2018年10月末



＜期間別騰落率比較＞



**長期的に市場を上回るパフォーマンスを継続、年初来でも相対的に下落幅は限定的**

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※上記指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者  
の視点

～エンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメント～

個別直接面談調査による銘柄厳選  
を市場環境が大きく動くなかでも継続

## 相場が荒れているときこそ、落ち着いて個別銘柄に注目

- 約半年の期間を置いて、11月2日より申込受付再開の運びになりました。受付停止の期間中も、組入銘柄の動向については、しっかりと見極めながら、適宜入れ替えも実施してまいりました。
- したがって、ポートフォリオの質は全く変わらず、高成長・割安の「50社パッケージ」を維持していることを、まずご報告いたします。
- 目先は、企業業績だけではなく、米国金融政策の見通しやトランプ米大統領の発言、英国のEU離脱を巡る欧州情勢などの外的要因で左右されることが予想されますが、**このようなときこそ落ち着いて個々の組入企業の足元の状況を見極めることが重要**と考えています。

## 個別直接面談調査を通じて、環境変化を成長機会とする企業に着目

- 当ファンド最大の特徴の一つは経営者に対する定期的な個別直接面談調査にあります。環境変化による業績への影響は、定期的に面談を繰り返すことで、より正確につかむことができると考えています。
- こうした調査のなかでは、環境変化によって一時的な影響を受けても、その中で**むしろシェアを高める、次に向けて様々な手を打つなど、結果的に勝ち組としての地位を固めていく企業も多く確認できています。**
- これからも常に冷静な視点で、かつチームメンバーの複眼を活かしながら対応してまいりますので、今一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

※上記は、「日興グローイング・ベンチャーファンド」のマザーファンドの投資顧問会社であるエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

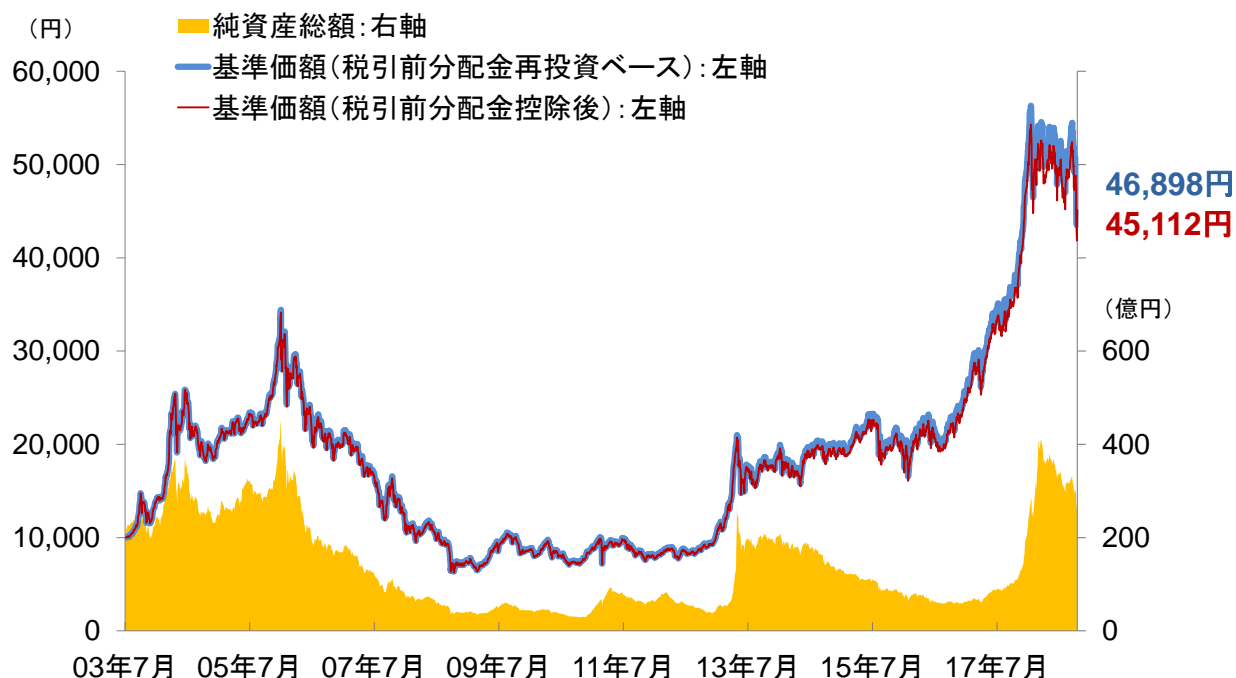
■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用実績とポートフォリオの内容

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞

2003年7月18日(設定日)～2018年10月31日



※基準価額は、信託報酬控除後の1万口当たりの値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

### ＜株式組入上位10銘柄＞

2018年9月末現在

(銘柄数: 54銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	MS-Japan	サービス業	3.96%
2	ラクス	情報・通信業	3.82%
3	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	3.78%
4	ビジョン	情報・通信業	3.69%
5	SHIFT	情報・通信業	3.64%
6	イトクロ	サービス業	3.62%
7	オープンドア	情報・通信業	3.56%
8	インソース	サービス業	3.45%
9	メニコン	精密機器	3.35%
10	エラン	サービス業	3.32%

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況であり、比率は対純資産総額です。  
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。  
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

### 1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

### 2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

### 3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率2.052%(税抜1.9%)</u>
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などが その都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することは できません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに  
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)